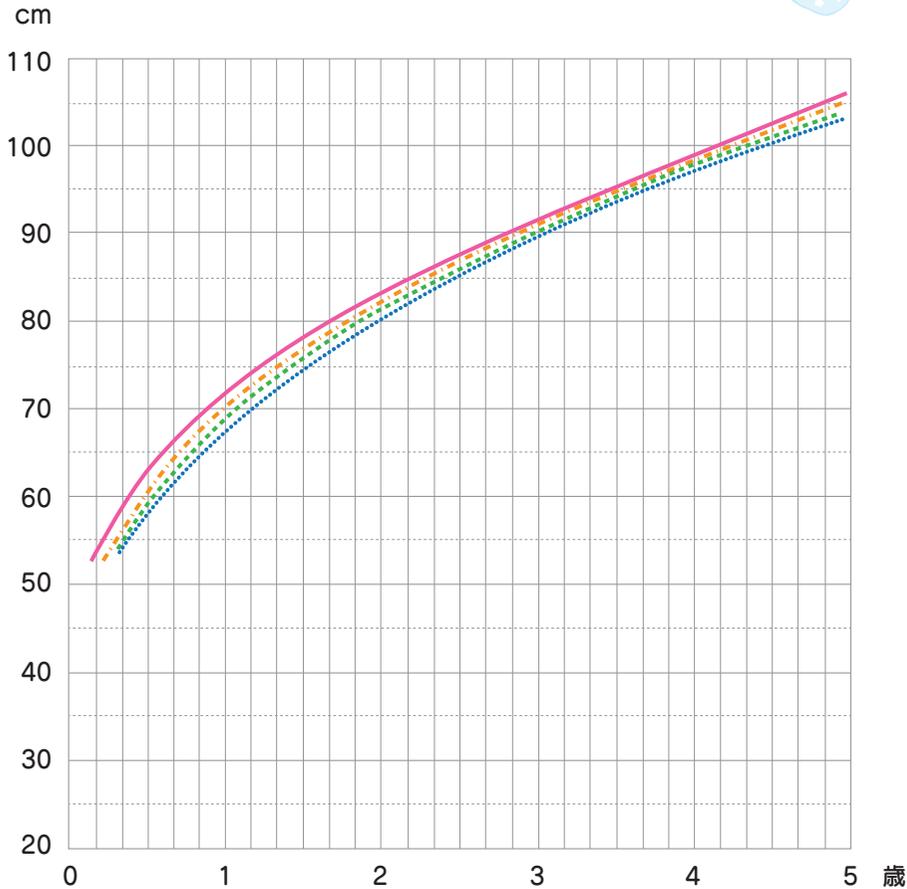


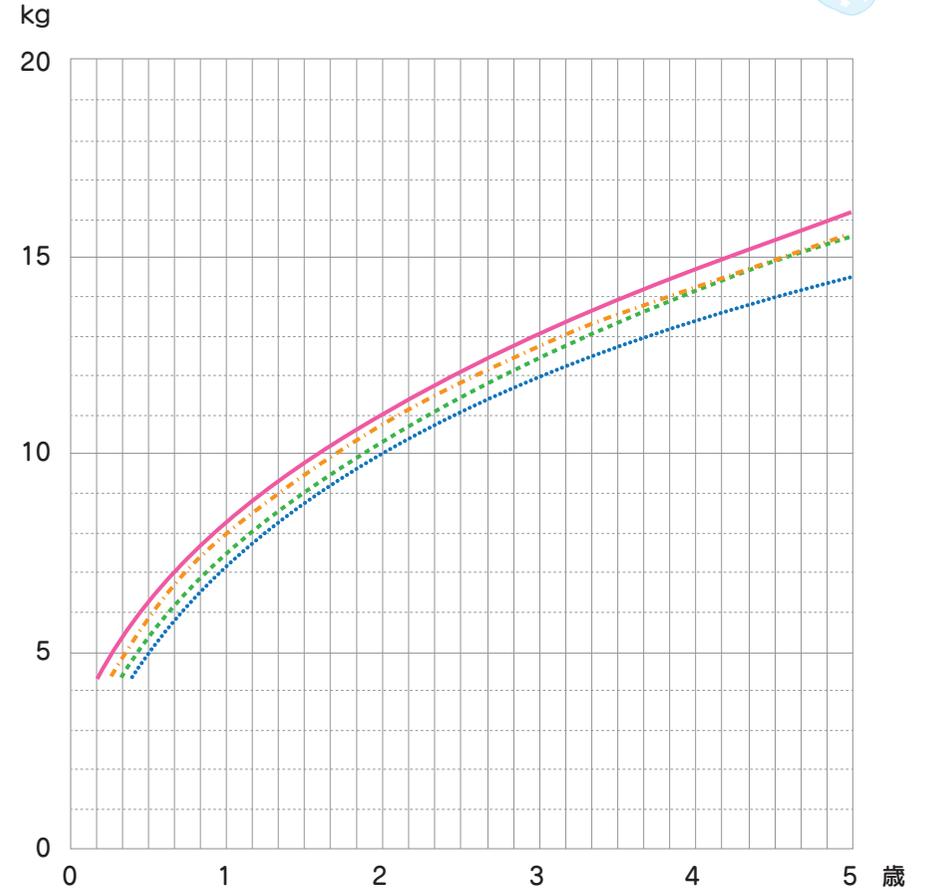
極低出生体重児(1,500g未満) 発育曲線

男児

身長 の推移 (各体重群の平均)



体重 の推移 (各体重群の平均)



..... 500~750g 750~1,000g 1,000g~1,250g 1,250g~1,500g

出典：極低出生体重発育曲線
(厚生省心身障害者研究班)



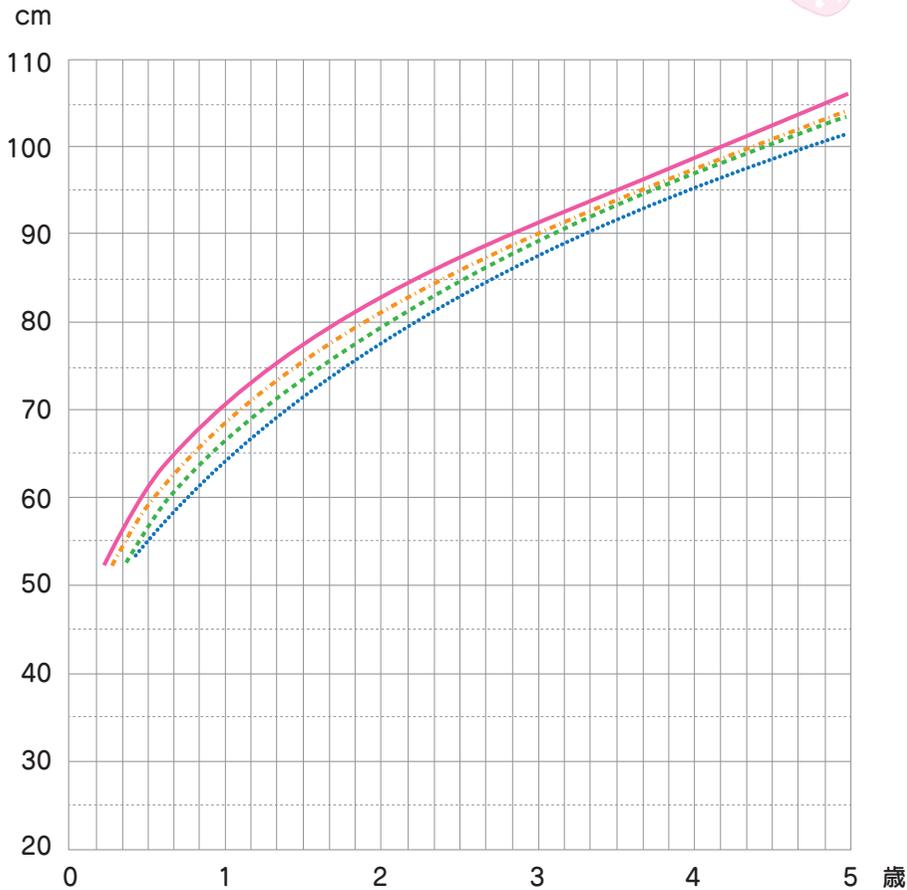
※留意事項※

この「極低出生体重発育曲線」(平成4~6年度厚生省心身障害者研究班)は、全国の医療機関において1980年代に1,500g未満で生まれた赤ちゃんのうち、比較的順調に経過したお子さんのデータを基に作成されています。作成当時と現代とでは、周産期医療や栄養管理などが進歩・変化してきているため、現代のお子さんの発育を評価するにあたっての妥当性については保証できません。あくまで参考としてご覧ください。赤ちゃんの成長発達について心配なことや気になることがあれば、医師や看護師、保健師に相談しましょう。

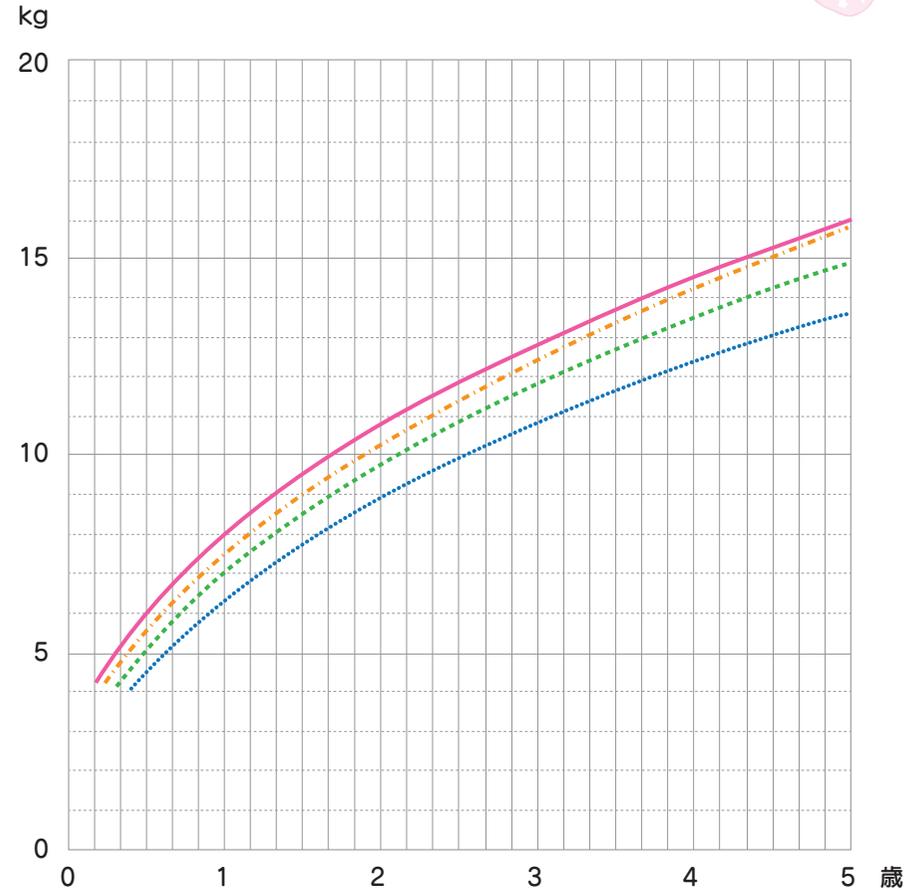
極低出生体重児(1,500g未満) 発育曲線

女兒

身長 の推移 (各体重群の平均)



体重 の推移 (各体重群の平均)



..... 500~750g 750~1,000g 1,000g~1,250g 1,250g~1,500g

出典：極低出生体重発育曲線 (厚生省心身障害者研究班)



※留意事項※
この「極低出生体重発育曲線」(平成4~6年度厚生省心身障害者研究班)は、全国の医療機関において1980年代に1,500g未満で生まれた赤ちゃんのうち、比較的順調に経過したお子さんのデータを基に作成されています。作成当時と現代とでは、周産期医療や栄養管理などが進歩・変化してきているため、現代のお子さんの発育を評価するにあたっての妥当性については保証できません。あくまで参考としてご覧ください。赤ちゃんの成長発達について心配なことや気になることがあれば、医師や看護師、保健師に相談しましょう。